

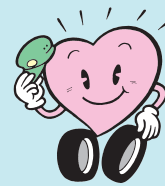
福岡県

Fukuoka Prefecture
Transportation
Information
No.1937

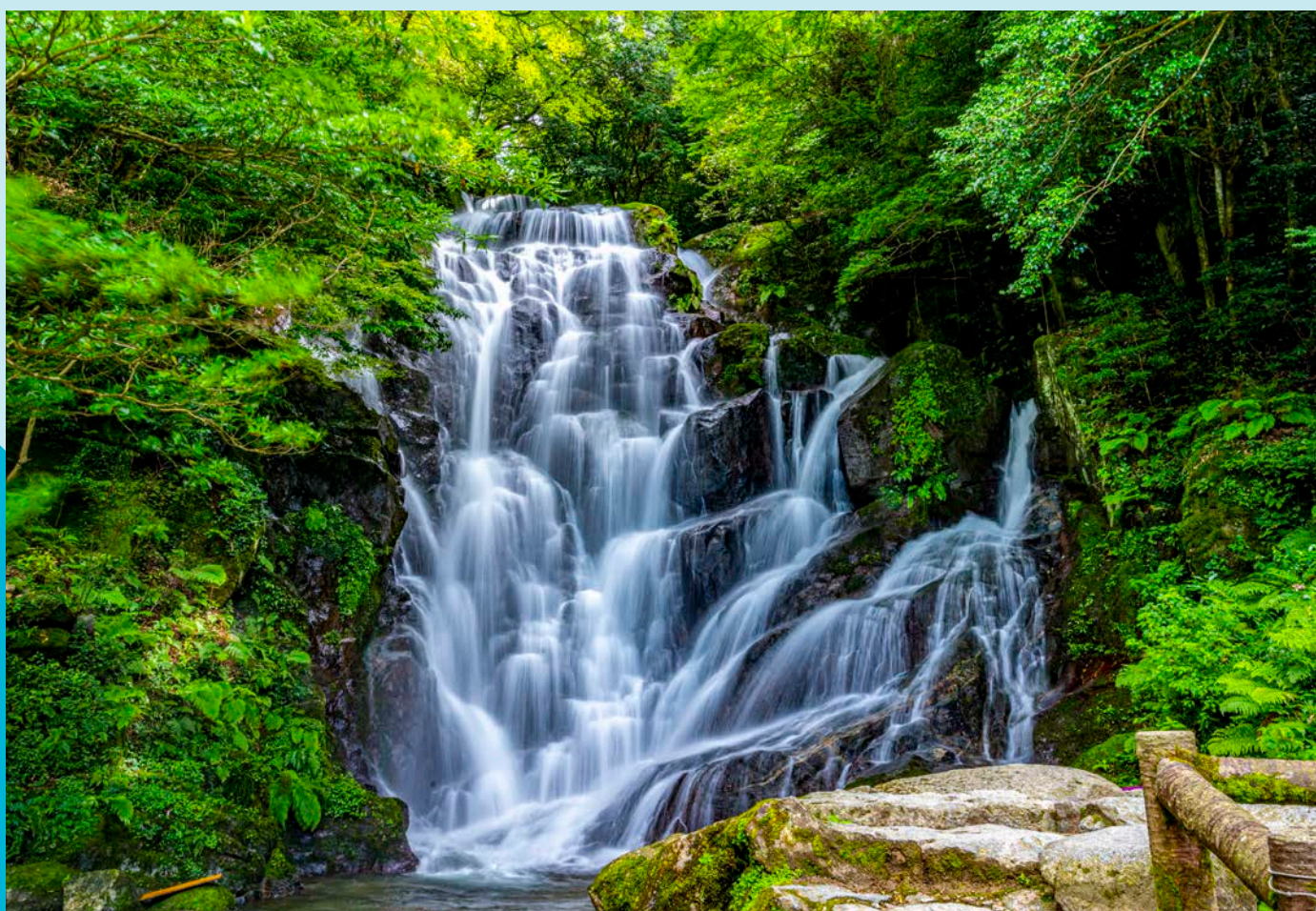
輸送 情報

2025.7/25

福岡県輸送情報 No.1937
(毎月2回 第2・第4金曜日 発行)
購読料:1ヶ月200円



公益社団法人 福岡県トラック協会



白糸の滝

No.1937 今号のTOP NEWS!

TOP NEWS 1 第29回福ト協政策研究会総代会 開催状況

TOP NEWS 2 福岡県トラック協会女性協議会 令和7年度通常総会 開催状況



福岡県輸送情報

Fukuoka Prefecture Transportation Information No.1937

1937号・令和7年7月25日発行

C O N T E N T S

● TopNews 1 第29回福ト協政策研究会総代会 開催状況	1
● TopNews 2 福岡県トラック協会女性協議会 令和7年度通常総会 開催状況	2
● 委員会レポート（広報）	3
● 近代化基金融資金利改定のお知らせ	3
● 令和7年度 北九州地区で適性診断が利用可能！（ナスバ福岡）	4～5
● 車両動態管理システムの活用を検討されている皆様への補助	6～7
● 予約受付システム等・配車計画システムの活用を検討されている皆様への補助	8～9
● ダブル連結トラック・スワップボディコンテナ車両の活用を 検討されている皆様への補助	10～11
● 会員だより「新規会員のご紹介」	12
● 行事日程	12

（公社）福岡県トラック協会
LINE 公式アカウント

～トラック協会の最新情報を随時受信できます～

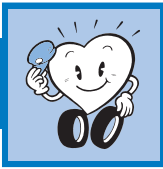
友だち募集中

@230tcqiw

LINEの「友だち追加」から、
ID検索するかQRコードを
スキャンしてください



TOP



NEWS-1

第29回福ト協政策研究会総代会 開催状況

福ト協政策研究会(木村正昭会長)は、6月27日(金)、福岡市博多区のオリエンタルホテル福岡にて、第29回総代会を開催しました。令和6年度事業報告及び収支決算、令和7年度事業計画(案)及び収支予算書(案)について審議が行われ、いずれも承認されました。



下川暢洋副会長の開会の言葉に続き、木村会長が挨拶を述べました。

木村会長は冒頭で、政策研究会の設立とその目的について触れ、昨今では燃料価格の高騰や「2024年問題」による人材不足など、業界が歴史的な転換期にあるとの認識を示しました。そのうえで、6月に成立した改正貨物自動車運送事業法に言及。この改正には、「事業許可の更新制度の導入や標準的な運賃を下回る運賃の制限、白ナンバートラック利用の規制などが盛り込まれている。長年にわたり適正な運賃収受に苦慮してきた我々事業者にとって、経営基盤の安定につながる極めて重要な内容である」と強調しました。



(木村会長)

第1号議案では、令和6年度事業報告及び収支計算書の報告が行われ、承認されました。令和6年度の福岡県トラック事業政治連盟との連携事業において、北九州下関道路が橋梁の場合における重量物輸送に関する要望をはじめとする7項目の要望とあわせて、令和7年度トラック関係施策に関する要望(全ト協)として、税制改正関連要望項目、道路関係要望項目、予算・施策関係項目の全12項目について要望活動を行いました。

第2号議案の令和7年度事業計画(案)と収支予算書(案)では、対策を講じないまま2030年を迎えると、トラック運送業界の輸送能力が35%程度不足するという予測をふまえ、「物流革新に向けた改正物流法等への対応」「改正『標準的な運賃・標準運送約款』の活用等による適正な運賃・コスト収受及び価格転嫁対策の推進」「燃料高騰対策の推進」などに取り組む方針が示されました。事業計画並びに収支予算について、案の通りに承認されました。

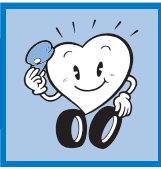
第3号議案では、総代及び役員を選任について審議を行い、承認されました。その後、新役員12名による別室での理事会において、会長には引き続き木村正昭理事が選任されました。副会長には、原淑雄理事、大瀬博巳理事、梶原義勝理事、下川暢洋理事が、専務理事には石橋浩祐理事が選任されました。

最後に閉会の挨拶を大瀬博巳副会長が述べ、総代会は終了しました。



(左から、下川副会長、梶原副会長、木村会長、大瀬副会長、原副会長)

TOP



NEWS-2

福岡県トラック協会女性協議会
令和7年度通常総会 開催状況

新体制スタート!

「トラック運送業界の諸問題に女性の感性でアプローチ」

福岡県トラック協会女性協議会(大村さつき会長)は、6月28日(土)、福岡市博多区の灯明殿にて、令和7年度通常総会を開催しました。会員14名中14名(委任状3名)が出席し、令和6年度事業報告・収支決算報告、及び令和7年度事業計画案・収支予算案等について審議が行われ、いずれも原案通り承認されました。

また、任期満了に伴う役員を選任が行われ、会長の大村さつき氏、副会長の西尾亜希氏、川内和恵氏、上田由美氏はいずれも留任となりました。

来賓として、福ト協の木村正昭副会長、仲聡陽副会長、福岡県トラック青年協議会より古賀大輔代表幹事、原辰徳副代表幹事、平川隼大副代表幹事、川口義弘副代表幹事が出席しました。



冒頭、会長は、「女性協議会は設立12年を迎えた。昨年度はトラック協会の一般会員を交えての研修会開催やトラックの日イベントでのPRステージ、全国研修会や九州ブロック研修会にも積極的に参加し、他県女性組織との交流を図るなど、非常に充実した1年となった。女性協議会は、トラック運送業界の諸問題に対し、女性特有の感性や思考でアプローチしていくことであり、会員との緊密な連携により、有意義な活動を行っていききたい。」と挨拶を述べました。

第1号議案では、令和6年度の事業報告及び収支決算報告、林田氏による監査報告が行われ、剰余金処分(案)が承認されました。

6年度は、令和6年8月24日と令和7年1月30日に(株)ASPREAD代表取締役の古田厚子氏を講師に迎え、異なるテーマでの研修会を開催したほか、トラックの日記念イベントに参画するなど積極的な活動を展開しました。

なお、研修会は女性協議会会員以外の県ト協会員を招いて開催し、当協議会未加入の女性経営者等への加入促進を行い、組織拡充に努めました。

他地域との交流については、全ト協女性部会の研修会、九州ブロック研修会にも積極的に参加し、各地区女性部と協調を図りました。

第2号議案では任期満了に伴う役員を選任が行われ、正副会長の再任が承認されました。

第3号議案では、令和7年度事業計画(案)及び収支予算(案)について説明が行われ、承認されました。

令和7年度は、引き続き未加入女性経営者への積極的な加入促進を行い、組織の拡充強化に努めること、全ト協女性部会の会議や他地区女性経営者組織との交流会等を通じ、ネットワーク拡充に努めること、九州ブロック女性協議会の研修や会議に参加し、業界を取り巻く諸課題に取り組むこと、NPO法人はあとスペースの交通安全街頭活動やトラックの日記念行事に積極的に参加すること、改正標準的な運賃、改正改善基準告示などについて、荷主への理解と協力要請に取り組むことなど重点項目とした施策を推進する方針です。

最後に、来賓を代表して木村副会長と古賀代表幹事が挨拶を行いました。

木村副会長は、「皆様には引き続き、女性特有の感性、思考、創造性を活かし、業界の発展、社会的地位の向上にご尽力いただきたい。トラック業界の構造改革を目指したトラック新法が本年6月4日参議院本会議で可決成立され、我々運送事業者を取り巻く環境は、大きな転換期を迎えようとしていますが、このような外部環境の変化を好機と捉えていただき、今こそ『適正な価格転嫁の実現に向けた荷主交渉』を積極的に行っていただき、トラックドライバーの労働環境を整えることで、しっかりと人材確保につなげていただきたい」と述べました。

古賀代表幹事は、「女性協議会の皆様は、非常にパワフルに活動されており、我々、青年協議会としても、日々刺激をいただいている。同じ協議会組織ということで、親会である福岡県トラック協会の様々な行事で一緒に過ごす機会も多く、今後も共に協力して、この非常に厳しい環境下にある運送業界を盛り上げていきたい」と述べました。

Report

委員会レポート

広報委員会 (木村正昭委員長)

●7月2日(水)【福岡県トラック総合会館】

委員長に木村正昭委員が就任し、副委員長の選出において、木村委員長より推薦があり市村英次委員(市村運送(有))が選任されました。その後、新たに広報委員会の委員に就任した方々の紹介を行いました。

協議事項では、最初に、福岡ソフトバンクホークス(株)との広報事業について、①Xリポストキャンペーン実施状況の報告を行いました。第1段の福岡県トラック協会スペシャルDayキャンペーンについてはインプレッション(閲覧回数)が18,000、応募数が122件で、当選者へのDM送付は済んでいます。第2段の直筆サイングッズキャンペーンではインプレッションが51,000で、応募数が6件でした。第2段について、木村委員長より「ステッカー貼付のトラックの画像を添付するという条件が厳しすぎた。応募条件については今後緩和する必要がある」とコメントがありました。

続いて、福岡県トラック協会スペシャルDay(ホークス冠協賛試合)における要検討事項について協議が行われ、主にドーム内ビジョン広告の内容について協議されました。

その後、10月4日(土)にTHE OUTLETS KITAKYUSHU



屋外特設スペースで開催される「はたらくトラック体験フェスティバル」について協議を行いました。ステージ前の10mパワーテントは2張設置で調整中、総司会はKBC「アサデス」の松下由依氏、小野あつこ氏のスペシャルステージは2ステージ実施、メインゲストとして岡澤アキラ氏の出演が決定したことを報告しました。また、人気キャラクターショー、展示車両、キッチンカーについても進捗報告を行いました。イベント告知チラシはA4サイズで5,000枚作成し小学校等への送付を想定であること、タイムスケジュールについて流れを確認し、案の通りに承認されました。その後、井上委員より、北九州支部青年部OB会による献血車の設置と周知方法について報告を行いました。



近代化基金融資金利改定のお知らせ

近代化基金融資の金利が、令和7年7月10日最優遇貸出利率(長期プライムレート)の引下げに連動して下記の通り改定されましたので、お知らせ致します。

1. 融資利率

				変更前		変更後		参考
				利子補給前	利子補給後	利子補給前	利子補給後	利子補給率
近代化基金融資	地方融資及び中央融資の調整・補完関連	個別企業体	1年以上 10年以内	2.25%	1.65%	2.20%	1.60%	0.6%
		共同体	1年以上 10年以内					
	ポスト新長期関連融資	個別企業体	1年以上 5年以内					
		共同体	1年以上 5年以内					

2. 実施日 令和7年7月10日

適性診断

NASVA

詳細は
裏面を
ご確認
ください

令和7年度

北九州

開催します！

事業者様のご要望にお応えし、今年度も
北九州地区で適性診断が利用可能！

- 開催日時：裏面をご覧ください
- 診断種別：初任診断・適齢診断・一般診断

独立行政法人
自動車事故対策機構
福岡主管支所

TEL 092-451-7751



【診断種別】

初任診断(4,800円)・適齢診断(4,800円)・一般診断(2,400円)

【診断時間】

① 9:30 ② 11:00 ③ 12:30 ④ 14:00

※④14:00は一般診断のみご予約可能です。

※15分前から受付を開始します。各回とも最大8名まで。

定員になり次第締め切らせていただきます。お早めにご予約ください。

【開催日】	トラック協会の方	
R7年	4月	2日(水)、4日(金)、8日(火)、11日(金)、15日(火)、16日(水)、18日(金)22日(火)、25日(金)、30日(水)
	5月	2日(金)、9日(金)、13日(火)、14日(水)、16日(金)、20日(火)、23日(金)27日(火)、28日(水)、30日(金)
	6月	3日(火)、4日(水)、6日(金)、10日(火)、13日(金)、17日(火)、18日(水)20日(金)、24日(火)、27日(金)
	7月	毎週 火曜日・金曜日
	8月	
	9月	
	10月	
	11月	
12月	※祝日や当機構の休業日等により休診の場合があります。詳細はお問い合わせください。	
R8年	1月	
	2月	
	3月	

【会場】

北九州緊急物資輸送センター 北九州市小倉北区西港町9-14

※駐車場あり(乗用車のみ駐車可)

※ご連絡は下記まで(会場には連絡しないようお願いいたします。)



【連絡先】 ご予約・お問合せは下記まで

NASVA福岡主管支所
092-451-7751



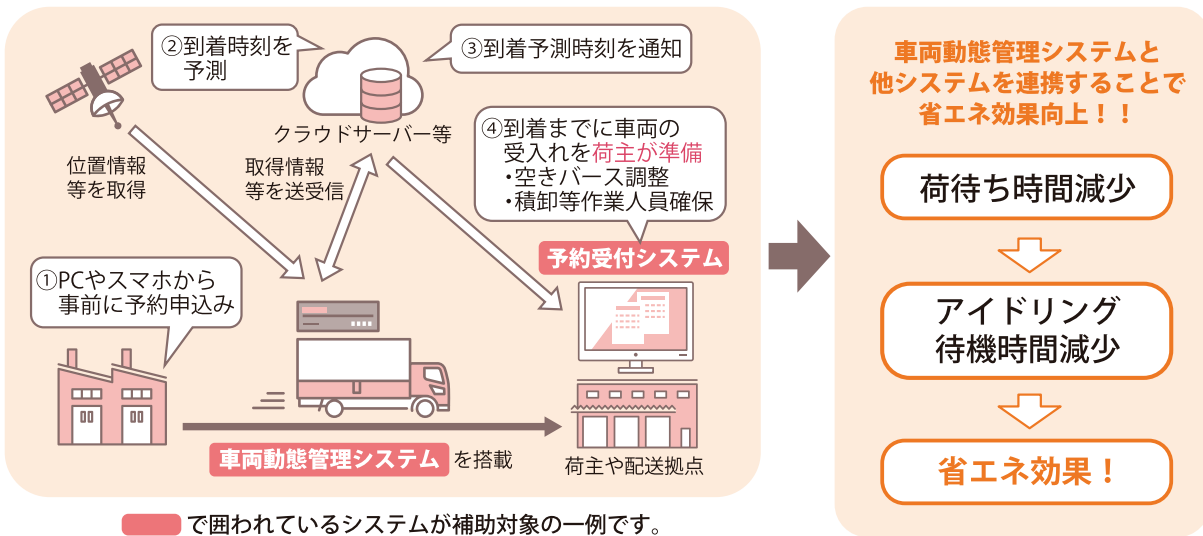
令和7年度運輸部門エネルギー使用合理化・
非化石エネルギー転換推進事業費補助金(トラック輸送省エネ化推進事業)
※経済産業省・国土交通省の連携による国庫補助事業

車両動態管理システムの活用 を検討されている皆様への補助

補助対象システム・荷主連携イメージ



- ・補助対象となるシステム・車両を活用したトラック事業者と荷主等との連携による輸送効率化の取組が対象となります。
- ・取組による省エネ効果(トンキロあたりの燃料削減率)3%以上の計画立案と達成が条件です。



補助金に関する不明点は、公募要領等を確認のうえ、下記までお問い合わせください

トラック輸送省エネ化推進事業事務局

TEL : 050-5799-8523 【受付時間】平日10:00~17:00 (12~13時、土日祝日・年末年始は除く)

mail : truck_hojokin@07.pacific-hojo.jp

H P : https://www.pacific-hojo.jp/



執行団体：パシフィックコンサルタンツ株式会社、パシフィックプロサービス株式会社

補助対象事業者・補助対象機器(システム・車両)

補助対象事業者 ○:単独申請・共同申請とも可 △:共同申請のみ可

システム/車両		貨物自動車 運送事業者	第二種貨物利用 運送事業者	自家用トラック 事業者	荷主等	リース 事業者
車両動態管理システム+予約受付システム等又は配車計画システム	AI・IoTによるシステム連携ツール	○	○	○	△	△
予約受付システム等		○	○	○	○	△
配車計画システム		○	○	○	○	△
ダブル連結トラック		○	○	○	△	△
スワップボディコンテナ車両		○	○	○	△	△

補助対象システム・車両

補助対象システム	補助率	補助金上限額及び取組車両の下限・上限台数
車両動態管理システム	定額(1/2以内) ^{※1}	上限額14万円/台×上限30台/事業者 上限台数の緩和措置あり ^{※2}
予約受付システム等	予約受付システム	定額(1/2以内) 上限額4千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
	ASNシステム	
	受注情報事前確認システム	
	パレット等管理システム	
	パレタイズシステム	定額(1/2以内) 上限額5千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
配車計画システム	定額(1/2以内)	上限額4千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
AI・IoTによるシステム連携ツール	定額(1/2以内)	上限額5千万円/事業者
ダブル連結トラック	定額(1/2以内) ^{※4}	上限額1千万円/台×上限10台/事業者
スワップボディコンテナ車両	定額(1/2以内) ^{※4}	上限額1千万円/台×上限10台/事業者 (荷台は上限3基/台)

- ※1:「定額(1/2)」とは、定額(補助金上限額)と補助対象経費×1/2のいずれか低い額を補助金額とすることをいう。
- ※2:優遇措置対象車両(非化石トラック及び省エネ法に基づく自動車燃費目標基準(2025年度目標)を満たすトラック)については、1事業者あたりの上限台数に含まないこととする。ただし、1事業者あたりの上限台数は優遇措置対象車両を含めて最大60台までとする。
- ※3:予約受付システム等または配車計画システム単独の申請の場合については、少なくとも車両5台以上による取組実施を必須とする。(車両動態管理システムとの連携による導入の場合は車両5台未満の申請も可)
- ※4:トン・キロあたりの燃料削減率の計画値が10.0%以上の場合は補助率を1/2以内、10.0%未満～3.0%以上の場合は補助率を1/3以内とする。

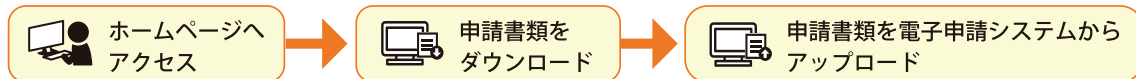
車両動態管理システムの申請においては、

予約受付システム等や配車計画システム[※]との連携[※]が必須になります!

※既に導入済みのシステムやデジタコにオプションとして追加可能なシステムとの連携も可能!!

申請方法

ホームページから申請書類をダウンロードしていただき、電子申請システムからアップロードしてください。



公募申請受付期間

公募回	申請受付開始	申請受付終了	事業完了期限
1次	令和7年7月4日(金) 14:00	令和7年7月14日(月) 16:00	令和7年12月19日(金)
2次	令和7年7月28日(月) 14:00	令和7年8月8日(金) 16:00	

- ・発注や契約は必ず交付決定後に行ってください。交付決定前の発注・契約は補助対象外です。
- ・事業完了期限までに取組内容及び省エネ効果の結果及び車両運行データ等の報告が必要となります。

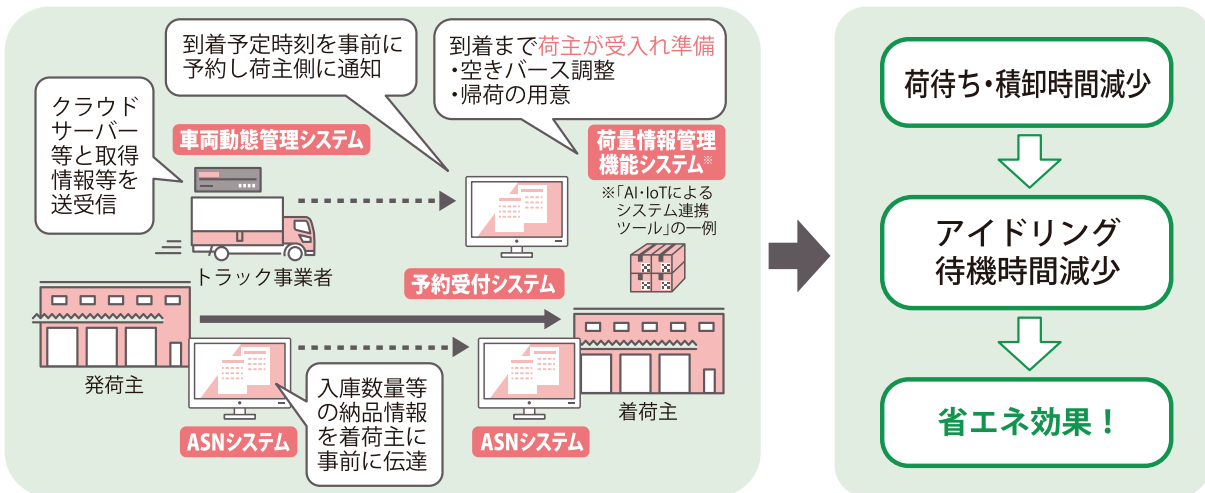
令和7年度運輸部門エネルギー使用合理化・
非化石エネルギー転換推進事業費補助金(トラック輸送省エネ化推進事業)
※経済産業省・国土交通省の連携による国庫補助事業

予約受付システム等・ 配車計画システムの活用 を検討されている皆様への補助

補助対象システム・荷主連携イメージ



- 補助対象となるシステム・車両を活用したトラック事業者と荷主等との連携による輸送効率化の取組が対象となります。
- 取組による省エネ効果(トンキロあたりの燃料削減率)3%以上の計画立案と達成が条件です。



で囲われているシステムが補助対象の一例です。

補助金に関する不明点は、公募要領等を確認のうえ、下記までお問い合わせください

トラック輸送省エネ化推進事業事務局

TEL : 050-5799-8523 【受付時間】平日10:00~17:00
(12~13時、土日祝日・年末年始は除く)

mail : truck_hojokin@07.pacific-hojo.jp

H P : <https://www.pacific-hojo.jp/>



執行団体：パシフィックコンサルタンツ株式会社、パシフィックリプロサービス株式会社

補助対象事業者・補助対象機器(システム・車両)

補助対象事業者 ○:単独申請・共同申請とも可 △:共同申請のみ可

システム/車両	貨物自動車 運送事業者	第二種貨物利用 運送事業者	自家用トラック 事業者	荷主等	リース 事業者
車両動態管理システム+予約受付システム等又は配車計画システム	○	○	○	△	△
予約受付システム等	○	○	○	○	△
配車計画システム	○	○	○	○	△
ダブル連結トラック	○	○	○	△	△
スワップボディコンテナ車両	○	○	○	△	△

補助対象システム・車両

補助対象システム	補助率	補助金上限額及び取組車両の下限・上限台数
車両動態管理システム	定額(1/2以内) ^{※1}	上限額14万円/台×上限30台/事業者 上限台数の緩和措置あり ^{※2}
予約受付システム等	定額(1/2以内)	上限額4千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
配車計画システム	定額(1/2以内)	上限額5千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
AI・IoTによるシステム連携ツール	定額(1/2以内)	上限額5千万円/事業者
ダブル連結トラック	定額(1/2以内) ^{※4}	上限額1千万円/台×上限10台/事業者
スワップボディコンテナ車両	定額(1/2以内) ^{※4}	上限額1千万円/台×上限10台/事業者 (荷台は上限3基/台)

※1:「定額(1/2)」とは、定額(補助金上限額)と補助対象経費×1/2のいずれか低い額を補助金額とすることをいう。

※2:優遇措置対象車両(非化石トラック及び省エネ法に基づく自動車燃費目標基準(2025年度目標)を満たすトラック)については、1事業者あたりの上限台数に含まないこととする。ただし、1事業者あたりの上限台数は優遇措置対象車両を含めて最大60台までとする。

※3:予約受付システム等または配車計画システム単独の申請の場合については、少なくとも車両5台以上による取組実施を必須とする。(車両動態管理システムとの連携による導入の場合は車両5台未満の申請も可)

※4:トン・キロあたりの燃料削減率の計画値が10.0%以上の場合は補助率を1/2以内、10.0%未満~3.0%以上の場合は補助率を1/3以内とする。

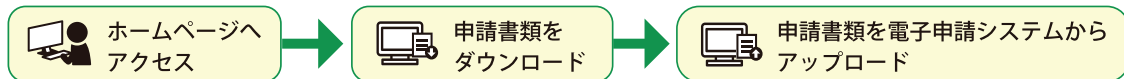
荷主等による単独の申請が可能です！

※車両動態管理システムとの連携は必須ではありません。

～令和7年度より～補助対象となるパレタイズシステムの定義に、「パレット又はトラック荷台への積み付け計画システム及び自動積み込みシステム」が追加されました！

申請方法

ホームページから申請書類をダウンロードしていただき、電子申請システムからアップロードしてください。



公募申請受付期間

公募回	申請受付開始	申請受付終了	事業完了期限
1次	令和7年7月4日(金) 14:00	令和7年7月14日(月) 16:00	令和7年12月19日(金)
2次	令和7年7月28日(月) 14:00	令和7年8月8日(金) 16:00	

- ・発注や契約は必ず交付決定後に行ってください。交付決定前の発注・契約は補助対象外です。
- ・事業完了期限までに取組内容と省エネ効果の結果及び車両運行データ等の報告が必要となります。

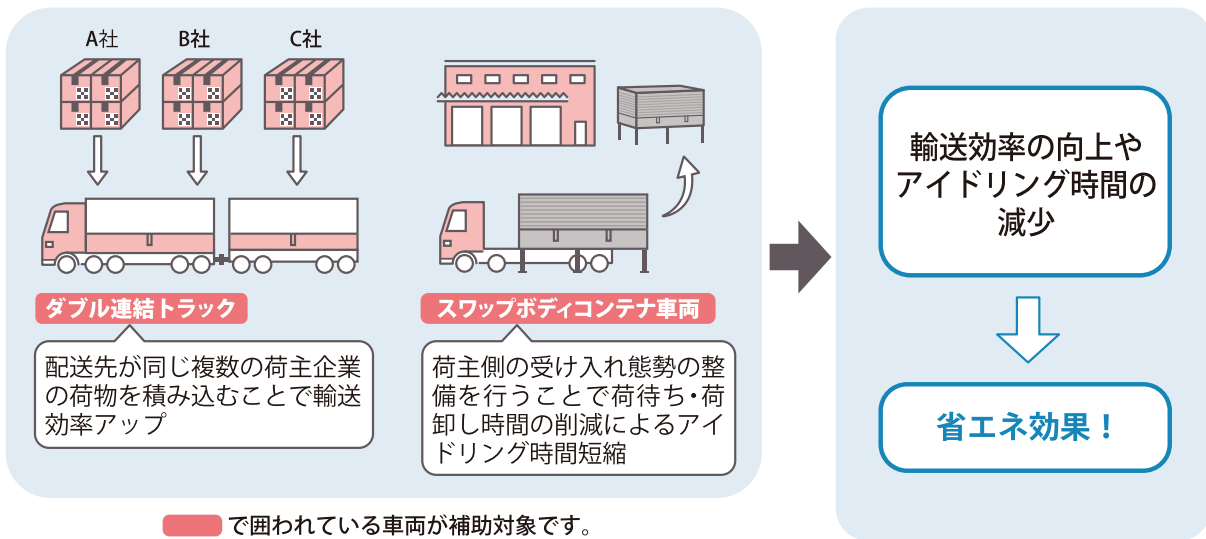
令和7年度運輸部門エネルギー使用合理化・
非化石エネルギー転換推進事業費補助金(トラック輸送省エネ化推進事業)
※経済産業省・国土交通省の連携による国庫補助事業

ダブル連結トラック・ スワップボディコンテナ車両の活用 を検討されている皆様への補助

補助対象車両・荷主連携イメージ



- 補助対象となるシステム・車両を活用したトラック事業者と荷主等との連携による輸送効率化の取組が対象となります。
- 取組による省エネ効果(トンキロあたりの燃料削減率)3%以上の計画立案と達成が条件です。
※但し、トン・キロあたりの燃料削減率により補助率が異なります。



補助金に関する不明点は、公募要領等を確認のうえ、下記までお問い合わせください

トラック輸送省エネ化推進事業事務局

TEL : 050-5799-8523 【受付時間】平日10:00~17:00
(12~13時、土日祝日・年末年始は除く)

mail : truck_hojokin@07.pacific-hojo.jp

H P : <https://www.pacific-hojo.jp/>



執行団体：パシフィックコンサルタンツ株式会社、パシフィックリプロサービス株式会社

補助対象事業者・補助対象機器(システム・車両)

補助対象事業者 ○:単独申請・共同申請とも可 △:共同申請のみ可

システム/車両		貨物自動車 運送事業者	第二種貨物利用 運送事業者	自家用トラック 事業者	荷主等	リース 事業者
車両動態管理システム+予約受付 システム等又は配車計画システム	AI・IoTによる システム連携 ツール	○	○	○	△	△
予約受付システム等		○	○	○	○	△
配車計画システム		○	○	○	○	△
ダブル連結トラック		○	○	○	△	△
スワップボディコンテナ車両		○	○	○	△	△

補助対象システム・車両

補助対象システム		補助率	補助金上限額及び取組車両の下限・上限台数
車両動態管理システム		定額(1/2以内) ^{※1}	上限額14万円/台×上限30台/事業者 上限台数の緩和措置あり ^{※2}
予約受付 システム等	予約受付システム	定額(1/2以内)	上限額4千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
	ASNシステム		
	受注情報事前確認システム		
	パレット等管理システム		
	パレタイズシステム	定額(1/2以内)	上限額5千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
配車計画システム		定額(1/2以内)	上限額4千万円/事業者 下限5台/事業者 ^{※3}
AI・IoTによるシステム連携ツール		定額(1/2以内)	上限額5千万円/事業者
ダブル連結トラック		定額(1/2以内) ^{※4}	上限額1千万円/台×上限10台/事業者
スワップボディコンテナ車両		定額(1/2以内) ^{※4}	上限額1千万円/台×上限10台/事業者 (荷台は上限3基/台)

※1:「定額(1/2)」とは、定額(補助金上限額)と補助対象経費×1/2のいずれか低い額を補助金額とすることをいう。

※2:優遇措置対象車両(非化石トラック及び省エネ法に基づく自動車燃費目標基準(2025年度目標)を満たすトラック)については、1事業者あたりの上限台数に含まないこととする。ただし、1事業者あたりの上限台数は優遇措置対象車両を含めて最大60台までとする。

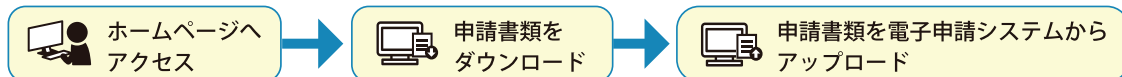
※3:予約受付システム等または配車計画システム単独の申請の場合については、少なくとも車両5台以上による取組実施を必須とする。(車両動態管理システムとの連携による導入の場合は車両5台未満の申請も可)

※4:トン・キロあたりの燃料削減率の計画値が10.0%以上の場合は補助率を1/2以内、10.0%未満～3.0%以上の場合は補助率を1/3以内とする。

交付決定前の令和7年4月4日以降に新車登録された車両も補助対象となりました!

申請方法

ホームページから申請書類をダウンロードしていただき、電子申請システムからアップロードしてください。



公募申請受付期間

公募回	申請受付開始	申請受付終了	事業完了期限
1次	令和7年7月4日(金) 14:00	令和7年7月14日(月) 16:00	令和7年12月19日(金)
2次	令和7年7月28日(月) 14:00	令和7年8月8日(金) 16:00	

・高輸送効率車両の導入に限っては、交付決定前であっても**令和7年4月4日以降に新車登録された車両も補助対象**となります。

・**事業完了期限まで**に取組内容と省エネ効果の結果及び車両運行データ等の報告が必要となります。

会員だより 新規会員のご紹介

(有)星光ライン福岡営業所 (福岡支部 粕屋分会)

代表者 才口 浩人

糟屋郡宇美町桜原1-69-35 1F 1号室
Tel.092-410-4747
[事業の種類]一般貨物自動車運送事業
[車両数]普通5両

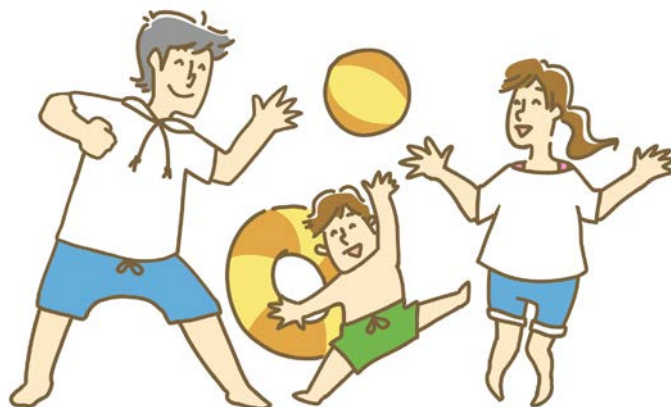
(株)ネクサス (筑後支部 大川分会)

代表者 宮原 弘幸

大川市中古賀34-5
Tel.0944-89-7777
[事業の種類]一般貨物自動車運送事業
[車両数]普通4両、小型1両

Schedule 行事日程

(7月)		県ト協行事日程(7月26日～8月8日)
29日(火)	適正化事業連絡会議 [13:30]	〔福岡運輸支局〕
(8月)		
4日(月)	利用運送・積合部会役員会 [13:30]	〔福岡県トラック総合会館〕
6日(水)	経営改善委員会 [11:00]	〔福岡県トラック総合会館〕
	労務厚生委員会 [13:30]	〔福岡県トラック総合会館〕



走るほどに、使うほどに、三菱ふそうの真価。



www.mitsubishi-fuso.com

三菱ふそうトラック・バス株式会社 九州ふそう

福岡市東区箱崎ふ頭5-4-17 TEL:092-641-8186

HINO
PROFIA



ひとつひとつ、「運ぶ」を次へ。

HINO
RANGER



HINO
DUTRO



九州日野自動車株式会社

福岡市東区みなと香椎3-7-2

TEL:092-518-1371 FAX:092-518-1375

運行管理者試験テキスト

【貨物自動車運送事業編】

過去の問題の解説と
実践模擬問題

定価 2,640円(税込)

令和7年版

自動車六法

定価 7,700円(税込)

株式会社 輸送文研社 <柏林書房>

〒101-0031 東京都千代田区東神田1-3-4
TEL 03-3861-0291 FAX 03-3861-0295
ホームページ <https://yuso-bunken.co.jp>



10月9日は

「トラックの日」

編集・発行:公益社団法人 福岡県トラック協会

TEL(092)451-7878(代表)

FAX(092)472-6439・(092)451-7964

ホームページ <https://hearty.or.jp/>

総務局・総務部

総務課: 092-451-7841

総務局・経理部

経理課: 092-451-7844

事業局・業務部

業務一課・二課:
092-451-7845

福岡県適正化事業実施機関
(輸送相談窓口)

092-451-7846

千早分室

092-671-0338

(FAX:092-672-4778)

UDアクティブステアリング

このステアリングを知るともう後戻りできない

あらゆる走行条件下においてアクティブな運転支援をドライバーに提供し、安定したステアリング感覚を実現

Quon

人を想い、先を駆ける。



UDアクティブステアリング特設ウェブページで
詳細をご覧ください。



UDトラックス株式会社 九州地域

福岡地域営業部：福岡市東区多の津1-39-4
北九州地域営業部：北九州市小倉北区西港町17-1
佐賀久留米地域営業部：久留米市宮ノ陣町若松1-8

TEL 092-629-1124
TEL 093-581-2305
TEL 0942-38-2002



たくさん運べる!

国内大型車クラス初!^{※1}

新定番GIGA。車両総重量25t低床3軸車

※1:最大積載量6.5t以上、2024年4月現在、いすゞ自動車(株)調べ。

ISUZU

積載量+400kg^{※2}を実現!



※2:G-Cargo 6×4(低床4軸)主要車型比

車両総重量25t低床3軸車のココがすごい!

シャシ設計の見直しにより

1 余裕の最大積載量を確保

6×4(標準型) 14.4トン
8×4(標準4軸) 14.0トン
6×2(標準) 14.2トン

*G-Cargoシリーズ主要車型での比較

小径タイヤの採用により

2 床面地上高の低床化
ゆとりの荷室容積を実現



※3:G-Cargo 6×4(低床3軸)の全車型で、荷室内法高2,600mm以上を確保

省燃費技術の導入により

3 燃料コスト削減の
最大化を追求



※4-一部車型除く

いすゞ自動車九州株式会社

〒812-0055 福岡県福岡市東区東浜1-10-85 Tel:092-641-7711 Fax:092-641-7744

お問い合わせは、お近くのいすゞ販売会社または、いすゞ自動車(株)お客様相談センターへお願いします。0120-119-113 9:00~12:00、13:00~17:00
月曜~金曜(除く所定の休日) <https://www.isuzu.co.jp> シートベルトをしめ、スピードを控えた安全運転を、点検・整備をしっかりとしましょう。

いすゞ ギガ 低床3軸



https://www.isuzu.co.jp/product/giga/newfivestar_giga/

